

学際融合教育について

■大学院副専攻プログラム、大学院等高度副プログラムについて

大阪大学では、学際融合教育（学部・研究科の枠にとらわれない教育）を推進しています。その一環として、大学院に入学した学生を中心に、学生が所属する主専攻の教育課程以外の教育プログラムを履修できる「**大学院副専攻プログラム**」、「**大学院等高度副プログラム**」を提供しています。

「大学院副専攻プログラム」、「大学院等高度副プログラム」は、学生が所属する主専攻の教育課程以外の内容を学んだり、あるいは主専攻の専門性を生かすための関連分野を学んだりするための教育プログラムです。主専攻の学修と並行して、用意されたプログラム科目を効果的に受講することで、学際的・俯瞰的な視点や複眼的視野を養うことを目的としています。

どちらのプログラムも、教育目標に沿った、一定のまとまりのある授業科目で構成されており、各プログラムが定める要件を満たすことで、所属する大学院の課程を修了（修士学位取得退学及び博士後期課程・博士課程単位修得退学を含む。）する際に当該プログラムの修了認定証が交付されます。

平成28年度は、以下に記載する「副専攻プログラム」5プログラム、「高度副プログラム」37プログラムが実施されます。

各プログラムの詳細については、大阪大学のホームページをご参照ください。なお、大学院の新入生には別途プログラムの案内冊子を配付いたします。

※詳細はこちら→<http://trans-1.jp/fukuprogram>

【**大学院副専攻プログラム**】 各プログラムで要件は異なるが、制度上、14単位以上をプログラム修了要件とする。

プログラム名称	実施部局
アジア人材育成プログラム	工学研究科
公共圏における科学技術政策	コミュニケーションデザイン・センター
金融・保険	数理・データ科学教育研究センター
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育副専攻プログラム)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター
超域イノベーション副専攻プログラム	未来戦略機構

【**大学院等高度副プログラム**】 各プログラムで要件は異なるが、制度上、8単位以上をプログラム修了要件とする。

プログラム名称	実施部局
アート・メディアロジー入門講座－理論と実践	文学研究科
グローバル化とコンフリクト——人間科学的アプローチ	人間科学研究科
持続可能な日本の進路を考える－成熟期を経た省資源・少子高齢化の日本の安心安全な進路のデザイナー	法学研究科
イノベーションリーダー人材育成基礎プログラム	経済学研究科
基礎理学計測学	理学研究科
放射線科学	理学研究科
健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科（医科学専攻）
医療通訳	医学系研究科（医科学専攻）
健康・医療イノベーションプログラム	医学系研究科（医科学専攻）
スポーツ医学研究プログラム	医学系研究科（医科学専攻）
高度がん医療人材育成プログラム	医学系研究科（保健学専攻）
看護教育・管理人材育成プログラム	医学系研究科（保健学専攻）
まちづくりデザイン学	工学研究科
高度溶接技術者プログラム	工学研究科
国際標準化	工学研究科

量子エンジニアリングデザイン研究特別プログラム	工学研究科
環境イノベーションデザイン学	工学研究科
デジタルヒューマニティーズ：分析方法論と実践	言語文化研究科
文化と植民地主義	言語文化研究科
グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科
科学技術文明における公共倫理とソーシャルイノベーション	国際公共政策研究科
国際協力活動における公共倫理とソーシャルイノベーション	国際公共政策研究科
組み込みシステム	情報科学研究科
大規模適応設計プログラム	情報科学研究科
感染症学免疫学融合プログラム	微生物病研究所
インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	国際教育交流センター
臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：専門科	国際医工情報センター
臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム：高度職業人育成科	国際医工情報センター
公共圏における科学技術政策	コミュニケーションデザイン・センター
データ科学	数理・データ科学教育研究センター
数理モデル	数理・データ科学教育研究センター
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士前期課程高度学際教育）	ナノサイエンスデザイン教育研究センター
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士後期課程社会人特別選抜）	ナノサイエンスデザイン教育研究センター
ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム（博士後期課程教育研究訓練プログラム）	ナノサイエンスデザイン教育研究センター
知的財産法を修得した人材育成	知的財産センター
実学主義 ～企業の視点から科学する～	産学連携本部
大阪大学未来の大学教員養成プログラム	全学教育推進機構

(参考)

なお、「大学院等高度副プログラム」のうち、一部のプログラムは、「**大学院科目等履修生高度プログラム**」として、社会人に対しても提供されています。

※詳細はこちら→<http://trans-1.jp/shakaijin>

■知のジムナスティックス（高度教養プログラム）について

大阪大学では、平成23年度から、「一定の専門知識を身につけ、（職業人あるいは研究者として）社会にまもなく出て行く学生に対して、専門教育以外に必要な知識や能力を与える教育」として、全学の3年次以上の学部学生及び大学院学生を対象とした、「**知のジムナスティックス（高度教養プログラム）**」を提供しています。

このプログラムは、研究科・学部を超えた学びとして、自らの専門とは異なる知の領域に触れること、研究科・学部の異なる学生の協働による学びを経験することを重視し、大阪大学で開講されている科目から、高度教養教育にふさわしい科目を精選して提供しています。これらの総合大学ならではの多様な科目から、学生一人ひとりが“つよさ・しなやかさ・バランス感覚”を兼ね備えた知性の涵養のためのプログラムを自主的に設計して履修できます。

平成28年度は、学部3年次以上及び大学院生向けに63科目、大学院生向けに269目提供され（平成28年3月時点予定）、1科目から履修していただくことが可能です。

具体的な提供科目については、大阪大学のホームページをご参照ください。なお、大学院の新生生には別途プログラムの案内冊子を配付いたします。

※このプログラムには修了要件や修了認定等はありません。

※詳細はこちら→<http://trans-1.jp/chi-gym>

■学際融合教育科目について

平成25年度から、本学における学際融合教育（研究科等の枠にとらわれない、複眼的視野を養うための教育）のより一層の充実を目指して、大学院横断教育科目（※）の新たな科目区分として「**学際融合教育科目**」を設置しています。

学際融合教育科目は、文系の学生でも理系の学生でも受講しやすい科目です。副専攻プログラムや高度副プログラムを受講していなくても、「知のジムナスティックス（高度教養プログラム）」として全学の大学院学生に提供していますので、興味のある方は是非履修してみてください。

詳細はこちら→<http://trans-1.jp/gakusai>

※大学院横断教育科目の既存の科目区分としては、コミュニケーションデザイン科目（コミュニケーション教育及び高度教養教育に関する授業科目）とグローバルコラボレーション科目（真の国際性を備えた人材養成のための教育に関する授業科目）があります。詳細については、それぞれのシラバスを参照してください。

※学際融合教育科目の単位認定についての取り扱いは、研究科によって対応が異なります。修了要件としての選択科目や他研究科科目等のように単位認定される研究科と、修了要件には含まないとする研究科がありますので、修了要件に算入できるかどうかについては、事前に指導教員や所属研究科の教務担当窓口を確認してください。